

刊夕日五十月一

常磐毎日新聞

定価一紙全額 金五拾五圓

発行所 常磐毎日新聞社 青森市本町三丁目

電話 六三〇

社址 青森市本町三丁目

支店 仙台 盛岡 秋田 岩手 山形 宮城 福島 茨城 栃木 群馬 埼玉 千葉 東京 神奈川 新潟 富山 石川 福井 滋賀 岐阜 愛知 三重 奈良 和歌山 徳島 香川 高松 岡山 広島 山口 徳島 香川 高松 岡山 広島 山口

東北の青年團を観る (三)

青年團 鈴木 康

(一) 体育

何處も最も大きな事業として多大の経費を掛けて置くものは体育方面である。然し之を細部に吟味してみると各々趣を異にしてゐる。函館市に於ては市民体育大會として運動會(小學校の運動會の如きもの)競技會(出場選手豫選をかねて)各團對抗野球大會(函館は五千の團員を二十團に分けてある)登山(駒ヶ岳)等に於て、各趣を異にして開催される。秋田に於てはマラソン運動會、競技會の三部に分れてゐる。酒田に於ては剣道、卓球、水泳、競技の四部に分れてゐる。中平田に於ては青年團主体となり、農村体育と稱し小學校運動會と聯合して舉行、福島市では稍平町に近い体育大會を實施してゐる。昭和六年度から所謂運動會のものとして名實共に供はる市民体育大會とし弊害のつき易い優勝旗は之を廢止する事にしたとの事であつた。

(二) 修養會

何處でも雄辯會は年に一回宛は開催されて居る、中には懸賞雄辯大會を開かるゝところもあつた。秋田、上の山、中平田、西目等に於て月次修養會を開き毎月一回日を定め主として團員の研究讀書要項及体育談、職業研究等の發表會及座談會を開いてゐるやうであつたが始めはなか／＼發表も謙遜して居たが回を重ねるに従つて發表する者が多くなつて困つて居るとの談であつた。斷つて置くがこれ等の會合は夜間に行はる、様々大規模のものは函館市の聯合青年團の大會と稱するもので三日に渉り開催されるもので、そのプログラムの特別なるものを掲げれば、團旗に對する敬禮、團員の意見發表、協議、諮問、團歌合唱、遙拜等頗る堂々たるものがある、更にこれを團員に周知せしむる爲め協議等は速記録として團報員外に印刷配布されてゐる。今參考の爲め協議題の一二を紹介すれば。

一、青年團及青年訓練所團員を徒間に於ては制服制帽の場合には已知と否とに拘らず舉手の禮を交す件
青年娛樂
到る處に圖書館巡迴文庫の設けあり相當本も動いてゐるやうであつた、更にくだけたものになると西目では石井漢氏の郷里のこと、石井漢氏の村制定の舞踊を明勵尚村歌を制定しレコードに吹込宣傳。
中平田に於ては青年團員の劇を公會、本上演種目

文藝募集

「東京行進曲」(會長の娘)「忠臣藏」(村内の老若男女を集めてマツサキ) 上山町に於ては活動寫真資金造成の意味もあるが料金を低廉にして數回行ふ。山形では音楽隊を設け管絃樂の演奏會を時々開く。北海道聯合青年團では活動寫真映寫機及映畫を購入として、は縣社會教育に資してゐることであつたがこれは資金が大分かかる様である。

平町新川端(釜屋新宅向)

醫學博士 難波 睦

電話 五〇二番

平町鍛冶町吉田屋吳服店西隣り

齒科

口腔外科 齒槽膿漏科 治療科 補綴科 齒列矯正科

◇受付は午前八時より午後八時まで 但し急患者は此の限りにあらず

東京齒科醫學士 中村 文一

中村齒科醫院

貸切の●●●

御用命は?

獅子吼(四四九)ノ勢デ

眞先ニ……………(マツサキ)

三九ニタクシーへ!!!

花柳科専門

木村外科醫院

平町五丁目橋際 電話三〇九番

入院自炊の便あり

お茶の値下斷行

本場銘茶の優良品を一段と品質を向上致しまして英斷的値下致しました、何卒御試飲下さいませ

煎茶四十目袋入 十錢より 五十錢まで

ほうじ茶四十目袋入 十五錢 第二號十錢

配 達

大勝園

風味、平町三丁目

本場銘茶、大勝園

鈴木義忠

電話 六三〇

速 達

眼鏡特賣

高級レンズ

獨逸ユーゾネ光學工場製 プンクトリヒ

特價 三圓五十錢

舶來生地メニスレンズ 三圓より

近視用 三圓より

三稜鏡 三圓より

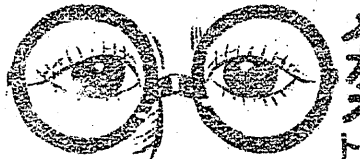
學生向クローム(三十錢) 實用枠セル巻(より)

其他最新型各種 特價 提供

醫家の處方に依り眼鏡親切に調製

◇見習店員入用十四五歳位

各眼科院御用



セメント

壁用材料 磐城セメント株式會社

コールタール 代理店 西村屋藥舖

ペンキ塗料

板ガラス

平町二丁目電三

解散を見越す……

届出前の選挙運動

如何なる處置をとるか

激戦を豫想し平検事局緊張

犬養内閣の居据りによつて今議會再開後における解散は決定的なものとなり濱通りにおける政民兩派も必勝を期し來る總選挙は未曾有の激戦が

展開され るものと見越し平検事局も是れに對應し一脈の緊張振りを見せて居り立候補届出の前の選挙運動に對しては選挙の公正を期する上から最も嚴重に取締る方針にあるが届出前の

諸運動に 關してさきに大審院が公示した低調微温な判例が檢察上禍ひする羽目に立至つた即ち問題の新判例と云ふのは從來に司法内務兩當局とも普通選法第九十六條の行政解釋は「届出前に於いては何人と云へども選挙運動を行ふ事を得ず、たゞ立候補準備に

必要なる 行動に限り之を行ひ得る事になつて居た」のを悉く覆して「演説又は推薦状による選挙運動は立候補届出前において無制限に之を行ふも違法に非ず」と聯合審判に依つて認め公示した結果内務省側も已むなく

大審院説

に届從、昨年夏全國各地方長官に「差支へなし」の通牒を發し來る總選挙がはじめて此新解釋を適用する事になつた譯である、この結果は届出前の推薦、演説による選挙運動には始期がなくなり選挙費用の制限

超過問題

も幾多の不合理的と疑議を生じいはゞもつともらしい法定選挙費は全く無意義なものとなつてしまひ取締りの標準を失ふと共に選挙干渉の場合においても如何なる處置をとるべきやをはなはだ以て迷はざるを得なくなつたと

縣下にも稀れな

養蠶實行組合の數

實施後半歳を出ず百卅五

石城養蠶實行組合管内の實行組合數は目下百三十五の多數に及び組合員四千名に達して居るが新蠶絲法實施後僅か半年を出ずして斯くの如く多數組合の組織を見たとのは縣下に於いても稀しい由

内郷村から

給水の交渉

石城郡内郷村では十三日午前十時村會を開會同村磐城炭礦經營の問易上水道の村内未配給部落への給水に關し磐城側代表の出席諒解の下に附議原案を可決した

官行製炭

事業成績良好

反對も鳴を鎮めて

植田農林管管内泊官行製炭業は六年度において木炭七萬俵用材五百立方メートルを生産木炭は東京並に地元・用材は茨城日立礦山に販賣し従業員百二十名を雇用してゐる割合には好結果を齎してをり殊に最近に至つては官行事業が民業を壓迫するものであると地方で卒先して反對したもので六年度炭礦所長會議は十日午前十時から平町住吉

ゐる事として双方事業の上には好轉の曙光を見出し大いに一般から期待されてゐる

中堅農民講習會

一層堅實に

石城郡農會では年一回行はれる長期講習會たる中堅農民養成講習會を本年は二月八日より廿九日迄の期間に催される事になつたが年々聽講生が激増するに鑑み尙一層堅實な講習會となすべく講師科目等に就いて協議中である

茨城縣是製糸

石城進出奔走

茨城縣にある縣是製絲會社では從來本縣植田町地方の養蠶家と提携し特約組合設立につき奔走中であつたが數日前から平町まで進出し目下同地蠶業團體と交渉中であり近く特約養蠶組合の設立を見る形勢になつた、尙ほ同地方は絲價好轉から早くも信州上州方面から春繭購買豫約の申込を爲すもの多し新春早々底力ある活氣を見せてゐる

果樹栽培

赤井村で講習

石城郡農會では十七、八の兩日赤井村第一小學校に於いて果樹栽培の指導講習會を開き講師として縣農會の小端技手が出席する事になつた

炭礦所長會議

郡下六大炭礦所の所長會議は十日午前十時から平町住吉

屋本店に開かれるが共同出炭及び元山事業の最新方針其他に就いて懇談的な協議を行ふ

夏井青年總會

石城郡夏井村青年團では十四日午後一時より同村小學校にて新年宴會を兼ね總會を開催、本年の諸事業計畫其他に就いて協議を行つた

大浦軍事講演

石城郡大浦村在郷軍人分會では本日午後一時から大浦小學校講堂にて在郷出征兵士の慰問金を募集すべく白石玄海氏の軍事講演會を開き其純益金を在郷兵慰問金として送金すると

石城郡四倉町

漁業組合は同漁の昨年漁業が角網が盛漁期中暴風雨で網を流失、中途にして打ちりまた秋刀魚も意外な不漁で漁獲高は四十五萬圓の見込みで豫算を編成したところ約十五萬圓の減少となり勞々の組合としても多大の財政難に陥つて居ると

平野業納所報告

△求職の部
△外交員 四十歳より廿五歳を商品販賣給料高卒以上數名(平 某商會)
△女中 廿四五歳位 尋卒以上給料月五六圓(平町 某商店)

平畫映界

□世界館 新興キネマ作品
「一心太助」東亞キネマ時代
尾上菊太郎 木下翠

葉主演「鈴木主水」メトロ
會社空中映畫ラモンナバ
ロウのアンタペーデ主演
「大飛行艦隊」

□平 館 日活時代劇淺香
新八郎 春日鈴子主演
「辻切の男」日活作品海江
田讓二 酒井米子主演
「高田の馬場」ウーファ會
社特作「月世界の女」

往來

△縣議井上茂作氏 今朝準急にて上京

平町人事

△長橋町四一 渡邊松次郎 氏四男政勝
△二丁目三五 長瀬元治郎 氏(三四)神奈川縣中郡大磯町與野松子(二三)

これからの
食物は……

鳥小焼

香六八二話電

鳥卵商 鳥菊

上田 外科醫院
平町 南町
電話二一九番

尺が長くて手ざわりよく
洗濯しても色さめず何回
編直しても大丈夫此糸こ
を國産日本一

毛糸

尾上菊太郎

御下賜金の事から 正直者が剃刀自殺

戦死者の遺族に濟まぬと 思ひつめた結果

石城郡上遠野村大字瀧農蛭田國治(五)は十三日午後二時頃自宅裏にて鋭利なる西洋カミソリを以て咽喉部を四寸程切り自殺を計り苦悶中を發見した同人妻カネ(七)がこれを制せんとしてカミソリで兩掌に深さ骨膜に達する傷を負ひ何れも重傷であるが一命は取止め得ると急報により植田署より齊藤部長外數名出張取調中であるが國治は瀧洲磐山の激戦に於て戦死した同村幸治の長男大久保幸太郎を幸治の放浪生活をしてゐる時世話した關係から今回御下賜金の事若松聯隊司令部から調査した所實父幸治には下らず國治に御下賜になるとの話を聞き

移民獎勵講演會

澤渡村で映畫會と共に

縣及び縣海外協會は昨報の如く縣民の海外移住を獎勵にボスターを配布する事になつたが尙ほ移民思想の普及の爲め来る廿日石城郡澤渡村小學校にて午後二時から外務省派邊の海外植民學校長崎山比佐衛氏の講演あり更らに午後八時から同校にて「運命の開拓者」なる映畫會を開催すると

早鐘に驚く

昨夜御厩の火事

石城郡内郷村御厩小學校傍の農家山本龜太郎(五)方で昨夜七時半頃夕食後の寢の殘火から發火し雨戸に燃え移り正に大事に至らんとしたのを家人が發見し附近の者と協力雨戸三枚のみにて消止めたが同部消防員が半鐘を打つた爲め平町に近づくに及んで一時は其半鐘につれて一騒ぎを起したと

變態氣温で

石炭賣行減

な昨今の變態的な氣温のため石炭の消費量が減少し磐城地方の炭礦界では書入れ

愛婦委員が

凶作地同情

愛國婦人會平委員區は北海道、青森、秋田、岩手諸地方の凶作被害地へ義捐金を送るべく近く町役場吏員と協力して全町内より一口三十錢宛の義捐金を一月廿一

惠まれぬ

湯本温泉

石城郡内郷村磐城炭礦から湯本町への送湯問題は過般經費持より同坑東斜坑から送ることに契約成立し目下設備中であるがこの契約と同時に従來の如く赤色をおびた湯を送らないことであるがこの程再び悪湯が送られてゐるので去十二日區長會議を開き炭礦に對し交渉を進めた結果木管の赤澁が附着してゐるからとて其後引續き掃除検査を行つて

女生徒等が

炭礦を見學

平第二小學校五年級生徒百五十名は小松、熊谷、松本各訓導に引率され炭礦の作業を實地見學の爲め本日内郷村高坂坑に至つたと

四警官出發

十七日に

今回の異動の爲め平署より轉任となつた中島刑事部長川島高等係、鈴木部長、西條部長の四氏は何れも十七日午前十一時十八分平驛發列車にて各新任地へ出發する事になつたと

盲目的生徒等を

尻目にかけて窃盜

一名の賊忍び入る 生するか△夫が狂犬病に罹ると何うなるか△人が狂犬病に罹ると何うなるか△本病の豫防は△夫を飼養せる者は畜犬取締規則により警察署に届出る事

野菜ぐるみ

リヤカー盗み

石城郡高久村宇山崎農金子忠太(三)は昨日午後二時頃より野菜行商の爲めリヤカーに四十貫餘の野菜を積んで平町に出掛け午後五時頃平郵便局前に差掛つた際端書を買ふとリヤカーを局前に置いた儘用を達して出て見ると賣残りの野菜ぐるみとリヤカーが見えぬので探

木賃宿の賭博

數名逃走

石城郡内郷村大字綴字川原田木賃宿相馬屋事録田トモ

狂犬豫防種目

一月

廿五日より一週間縣下一齊に行はれる狂犬病豫防デーに關し平署にては各學校生徒間に是が豫防思想普及を圖る爲め左記の如き種目を掲げた注意書を發行する事になつたと

けふ共同販賣

石城

郡大浦村農業倉庫では今十五日定期共同販賣を行ひ出荷總數約八百俵の見込で値段は前回よりも更に騰貴を見越され四等米一俵八圓の見當で舊年末を控え各農家の懐は幾分落はされる

明日のラジオ

十六日

今晚も明日も北西風の晴れたり曇つたり

今晚の部

後六〇〇(子供の時間) 獨唱 仙臺市上杉山通小學校四年生 木村つた子 後七三〇 講演「生物學から見た商品鑑定」理學博士小原龜太郎 後八〇〇 小女歌劇「古波陀乙女」寶塚小女歌劇團

明日の部

後八五〇 在仙女流選手かるた會 後九四〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組預告 前九一〇 料理談話「家常燒魚」四ッ倉龍男 前一〇三〇 婦人講座「歌心に就て」今井邦子

後〇〇五 映畫物語 松平鶴聲伴奏指揮中野定吉 後二〇〇 運動競技一打毬競技に就て「八月打毬會幹事 太田良作」 後六〇〇(子供の時間) をどりのおけいこ「ラデオは何處でも子供の時間も歩いてる」振付とお話花柳珠實 後六三〇 英語講座「中等科第一講の三」梅谷與一 後七三〇 滿蒙事情特別講座 後八〇〇 ラデオ風景 「東京の鼓膜」齊藤春居 作

小説 七五郎

(百廿九)

渡邊默禪作
布施平八郎畫

【載轉禁】

親族會議 (4)
郁子だけは看護に托して出なかつたけれど源之助も千代子もその席に喚ばれた夕景にとこからかひよつくりと歸つて来た支配人の川島秀雄も顔を見せた。その會議の幕があくと共に眞先に波瀾を起したのは、例の清作と川島との衝突であつた。

かゝる波瀾は豫期されぬの、親族會議を開くといふことは壽屋治右工門の發意であるやうに表面は披露されてゐたけれど、その實源之助の要求から出たのであつた。源之助の背後には木村清作があつた。

清作が源之助を説いて遮二無二その手選をさせたといつてよい。
治右工門は最初源之助から川島についての話があつた時に容易にそれを信じようとはしなかつた。

『いくら何でも川島はそんな悪黨ではあるまい。清作の老人何か不平があつて川島の揚足取をしようといふのではないか、お前は若いから担ぎ込まれたのだ。』
と恠う言つてゐたが、確かな證據まで掴んでゐるから川島へ突きつけて面皮を

いてやると清作が意氣込んでゐるといふ話を聞いて『そんな證據まである上は……』
と首をひねりはじめた。けれど親族會議の席上にはそれを持出すといふことには同意しなかつた。仰山らし



會議を開くといふことさへ好まなかつたのである。『今にも如何かといふ大病人を控へてごた／＼するのには面白くない、最う少し先に行つてからのことにして遅くはなからう。兎に角病人が大切だ。まア當方左として川島の仕打……』

へ事件をどう切抜けるか見てゐようぢやないか。』
と然う言つてゐたが、清作が源之助の尻押をして熱心に別の親族たちを説きつめた結果、親族たちからあらためて
『忌な話を聞かされました實際ならば大變なことですが兎に角平兵衛さんの息のあつて一家の立行やうになつてはどんなものですか』
と首をひねりはじめた。けれど親族會議の席上にはそれを持出すといふことには同意しなかつた。仰山らし

冷静な態度をたもつてゐた治右工門もさういふので多數の意見に従ふことになつたのである。かゝる深慮の在ることを分らぬ一徹短慮の清作は
『泥棒？大泥棒？大泥棒がこの家に集つてゐるやあが』

清作が卓をたゝいて仁王立になり、壁も破れるやうな大音をあげて恠う絶叫したのは、ちやうど隊長格の治右工門が緊急相談會を開いた理由を一通り説明し多額の負債のため銀行と外一人の債権者から全部の動産及び不動産を差押へられ、その競賣期日が四五日うちに迫つてゐるが、それを如何したならば無事に切抜けることが出来るであらうかといふ沈痛な口調で一同に語つた時、源之助から此の負債について奇怪なことを聞き込んだが、それを話したのは木村清作である。
一應此席に呼んでお聞取下さるやうにと提言し、直に清作を呼び寄せた後の五分間であつた。

いきなり爆弾をたゞきつけたやうな此叫びは強かにそこにある人々の肝を冷させた。
淺草の遠い親戚になつてゐる御隠居などは地震でもゆり出したやうに顔色を變へて飛揚つた。

井の切手
三の商
電話 八四三二
平三

耳鼻咽喉科専門
大和田醫院
平町南町
電話一七〇

大塚の 學生靴!!!
耐久新製品
編上靴 六・〇〇
半靴 五・〇〇
不安心なるキカイ靴より、安心得る弊店の靴を……
大塚支店製靴部
電話七七番

平新川町十九
木村病院
電話一六四番
産人科 院長 木村寅次郎
内臓外科 醫學士 松永憲一
整形外科
度量衡、計量器、吸入用酸素、酸素吸入器
關内藥局
電話四〇番

りん病 永らく悩む人の福音
こしけ 天下の名湯別府温泉で出来た無効返金責任藥
全國知名新聞 朝日、東京日々、大阪毎日、富士、雑誌 推奨 講談俱樂部、主婦之友廣告御參照
古は岩里家古來よりの家傳秘法藥にして男女血らし慢性淋病、こしけ、濁濁の病みは不思議に止り連服するも絶対胃腸障害なき各藥であります。
尚ほ此の藥は責任速効藥で二日内服して効なき時は殘藥引換に全部異議なく返金します。
論より證據服藥した人は皆全快喜んで居ります。慢性、悪性の人は七日以上服差して下さい。
回美本淋病治療書無代進呈(此の新聞各記入申込者に付前金申込者には送料無料、新品送藥す。代金引換廿三錢手数料金納の事。)
藥價 急性用(黒箱) 一週分 參圓 慢性用(赤箱) 一週分 五圓
平町古鍛冶町一〇

吉田眼科病院
平町南町、電話六八番
阿康藥舖
縣社ノ下(電話四四番)

時計 眼鏡
トキワヤ
平一電三三九

科病柳花科兒小科内
院醫沼藤
應需院入
町屋紺町平
番七〇五話電